



鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

＜ 学校教育目標 ＞

地域とともに
明るく元気に生きる
明生の子

あかくみゆうしょう 赤組優勝

運動会の日^{うんどうかい}は運動場^{うんどうじょう}の状^{じょう}態^{たい}が悪^{わる}く実施^{じっし}できなかつた徒競走^{ときようそう}。延期^{えんき}した10月23日^{がつ にち}も雨^{あめ}で11月6日^{がつ}に再度^{また}延期^{えんき}して、ようやく行^{おこな}うことができました。

この日^ひも前日^{ぜんじつ}夕方^{ゆうがた}から夜^{よる}にかけて雨^{あめ}が降^ふりましたが、朝^{あさ}にはすっきり晴^はれて、風^{かぜ}もなく寒^{さむ}くもなく、運動^{うんどう}するには最適^{さいてき}の日^ひとなりました。

スタートライン^{なまえ}で名前^{なまえ}を呼^よばれると緊張^{きんちよう}した面持^{おもも}ちながら、元気^{げんき}よく返事^{へんじ}した後^{あと}、スタート。どの学年^{がくねん}も走る長^{はし}さは違^{ちが}えど、ゴールめざして一生懸命^{いっしょうけんめい}走る姿^{すがた}は共通^{きょうつう}でした。

徒競走^{ときようそう}の結果^{けつか}、今年度^{こんねんど}の優勝^{ゆうしょう}は赤組^{あかぐみ}となりました。おめでとう。



な ら きょうと しゅうがくりょこう 奈良・京都への修学旅行

11月12、13日^{がつ にち}の日程^{にってい}で6年生^{ねんせい}が奈良・京都^{なら きょうと}へ修学旅行^{しゅうがくりょこう}へ行^いってきました。

12日朝^{にちあさ}は7時^じの出発^{しゅっぱつ}と早い時刻^{はや じこく}でしたが、遅刻^{ちこく}することもなく集^{しゅうごう}合^{ごう}し、出発式^{しゅっぱつしき}を終^おえバスに乗り込^{の こ}みしました。

最初^{さいしょ}の見学地^{けんがくち}は、1300年^{ねんいじょう}以上の歴史^{れきし}がある、世界最古^{せかいさいこ}の木造建築群^{もくぞうけんちくぐん}である法隆寺^{ほうりゅうじ}です。多くの建築物^{けんちくぶつ}があるので、金堂^{こんどう}と五重塔^{ごじゅうのとう}を中心^{ちゅうしん}に見学^{けんがく}しました。また、建物^{たてもの}だけでなく大宝蔵院^{だいぼうぞういん}の中で、国宝^{こくほう}である百済観音^{くだらかんのん}や玉虫厨子^{たまむしのずし}も見てきました。澄み渡る青空^{すみわ あおぞら}を背景^{はいけい}に五重塔^{ごじゅうのとう}を見学^{けんがく}できて幸^{さいさき}先^{さき}良^よいスタートとなりました。

次に昼食^{つぎ ちゅうしょく}を済^すませて徒歩^{と ほ}で、若草山^{わかくさやま}から二月堂^{にがつどう}を経由^{けいゆ}し東大寺大仏殿^{とうだいじだいぶつでん}へ向^むかいました。「奈良の大仏様^{なら だいぶつさま}」で知られる廬舎那仏^{ろしゃなぶつ}は現在^{げんざい}まで複数回^{ふくすうかい}の焼失^{しょうしつ}により現在の物^{げんざい もの}はその大部分^{だいぶぶん}が再建^{さいけん}され、建造当初^{けんぞうとうしょ}の物^{もの}より少し小^{すこ}さくなっているとのことですが、高さ約14.7メートル^{たか やく}の像^{ぞう}は何度^{なんど}見てもその大きさに圧倒^{おお}されます。南大門^{なんだいもん}で吽形像^{うんぎようぞう}・阿形像^{あぎようぞう}に見守^{みまも}られながら東大寺^{とうだいじ}を後^{あと}にして、二条城^{にじょうじょう}へ向^むかいました。

江戸幕府^{えどばくふ}から政治^{せいじ}の実権^{じつけん}を朝廷^{てうてい}に返^{かえ}したことで鎌倉幕府^{かまくらばくふ}以来^{いらい}約700年間^{ねんかんつづ}続^{つづ}いた武家政権^{ぶけせいけん}の終わりととなった大政奉還^{たいせいほうかん}の舞台^{ぶたい}です。また、鶯^{うぐいす}張^ばりの廊下^{ろうか}も有名^{ゆうめい}で子どもたちはその音^{おと}を聞きなが

じょうない ある
ら城内をめぐり歩きました。

12日の最後は金閣寺でした。例年観光客が多く、歩くのも大変なこともあるのですが、今年は訪れた時刻が少し遅かったためか、これまでにないくらい少なくなりました。また、ちょうど日が金閣寺に当たる時間帯で、日の光を受け金色に輝く金閣寺を見ることができました。

旅館では夕食・入浴等を終え、各部屋で思い思いに過ごしました。就寝時刻までは子どもたちの元気な声が聞こえていましたが、就寝時刻になるとすっかり静かになり、眠りについていました。

13日は朝一番で清水寺へ。昨年も同じような時間帯で行ったのですが、今年の方が人出が多く感じました。紅葉も少しですが始まっていて、清水の舞台から眺める山はとても美しかったです。

その次は三十三間堂へ。千体の仏像が並ぶ圧巻の眺めです。子どもたちは自分の顔に似た仏像を見つけることができたのでしょうか。

見学地としては最後の銀閣寺へ。昨日の金閣寺とはうって変わって、渋い趣の銀閣寺です。子どもたちには金閣寺の方が印象に残っているのかと思ったのですが、銀閣寺の方が好きと言う子どもが案外多かったのは意外でした。

最後のお楽しみは東映太秦映画村での活動です。ここまでの行程が順調だったので、予定より長い滞在時間となりました。そのため、お化け屋敷の待ち時間が90分という場面もあったのですが、お化け屋敷を体験しても買い物をする時間もあったようでした。

帰りは京都市内で少し渋滞に巻き込まれ、予定時刻より遅くなりましたが、全員元気に学校に帰ることができました。

